



こもろ

市議会だより

9月定例会・10月臨時会

No. **176**
平成30.11.7



鶺久保ビオトープ（収穫が待ちどおしい）

平成29年度 決算を認定

主な内容

- 9月定例会の概要 …………… 2～3ページ
- 常任委員会報告 …………… 4～6ページ
- 一般質問（16名） …………… 7～17ページ
- 10月臨時会の概要 …………… 18ページ
- 小諸で活かしたいこと …………… 19ページ
- ぼいす（鶺久保ビオトープ）
傍聴席・編集後記 …………… 20ページ

平成29年度決算を認定

財源の確保が厳しくなっている。これまで以上の選択と集中を。

定例会の概要

期間：8月27日から9月25日(30日間)
 議案：平成29年度決算ほか全36議案
 結果：すべて認定、可決、同意

平成29年度決算の概要

一般会計の歳入総額は198億9千113万円で前年度比10・7%の増、歳出総額は193億1千61万円で前年度比13・7%の増となりました。

財政の健全化の指標となる実質公債費比率は、普通交付税などの減少の結果、前年度比0・5ポイント低下の8・8%となりました。

(※1) 実質公債費比率は、地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさをその地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。国で示す基準(早期健全化基準)は25%で、これを下回るほど健全な自治体運営といえます。

任期満了に伴う人事案件の同意

●人権擁護委員候補者の推薦

清水 智氏(滝原)
 土屋敏子氏(田町)
 佐藤敏通氏(滝原)

任期は平成31年1月1日から平成33年12月31日までの3年間でです。







●小諸市教育委員会教育長の任命

小林秀夫氏(平原)
 任期は平成30年10月3日から平成33年10月2日までの3年間でです。

●小諸市教育委員会委員の任命

田中隆之氏(古城)
 任期は平成30年10月9日から平成34年10月8日までの4年間でです。

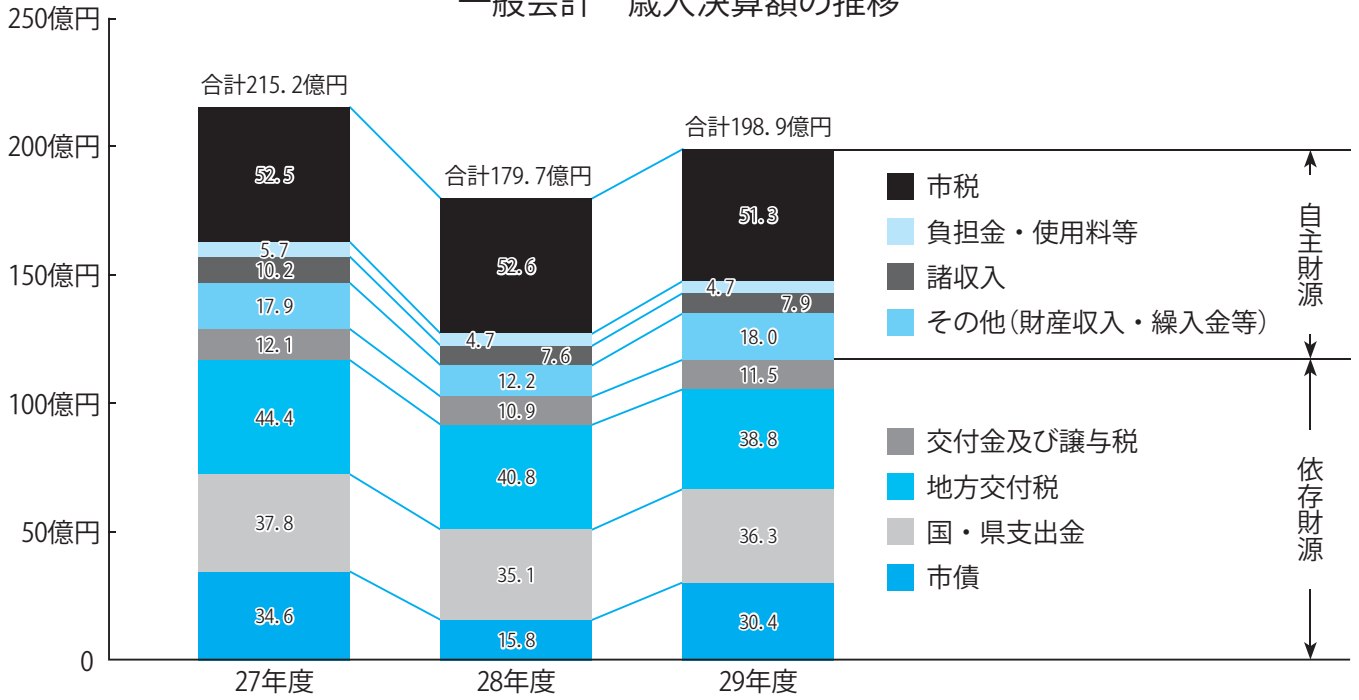
政策別の支出状況 (市民一人当たり 453,364円の支出になります)

<p>子育て・教育 31億5,670万円 一人当たり 74,111円 (前年度比 18,395円増)</p> 	<p>環境 16億4,039万円 一人当たり 38,512円 (前年度比 574円増)</p> 	<p>健康・福祉 77億459万円 一人当たり 180,884円 (前年度比 48,704円増)</p> 	
<p>産業・交流 14億9,700万円 一人当たり 35,146円 (前年度比 1,614円増)</p> 	<p>生活基盤整備 18億1,819万円 一人当たり 42,687円 (前年度比 ▲16,242円減)</p> 	<p>協働・行政経営 34億9,374万円 一人当たり 82,024円 (前年度比 2,651円増)</p> 	
<p>(内) 借金返済 16億4,995万円 一人当たり 38,737円 (前年度比 2,268円増)</p>			

※人口42,594人で計算(平成30年10月1日現在外国籍住民を含む)

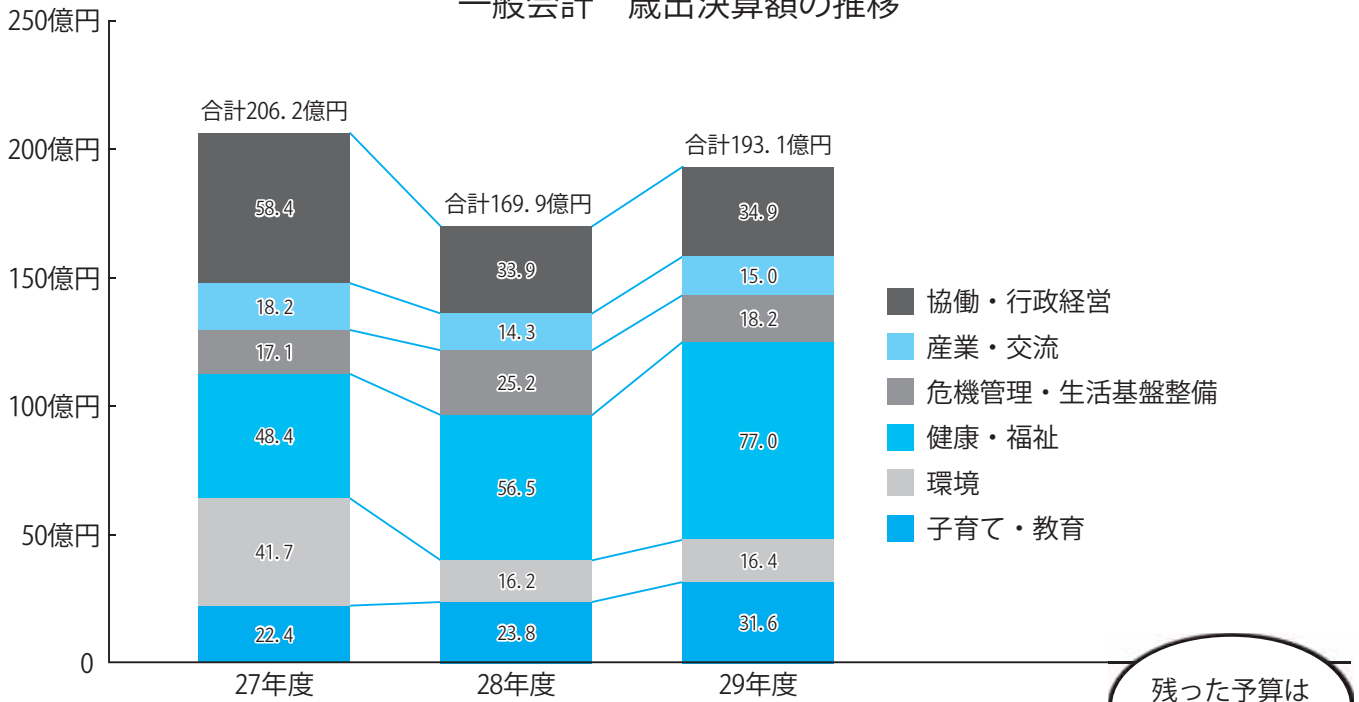
歳入総額 198億9,113万円

一般会計 歳入決算額の推移



歳出総額 193億1,061万円

一般会計 歳出決算額の推移



残った予算はどうするの？

- 重要課題のひとつであった浅間南麓こもろ医療センターが完成し、これに伴う財政支援等により前年度額を上回りました。
- 複合型中心拠点誘導施設の整備や消防庁舎建設、学校改築・保育園の建設などの大型事業が控えており、歳出規模の縮小は容易なことではありません。

一般会計歳入歳出差引額
5億8,052万円の内訳

- ・事業が繰越されたことにより
財源が繰越されたもの 1億2,425万円
- ・財政調整基金への積立 2億3,000万円
- ・平成30年度へ繰越 2億2,627万円

平成29年度 一般会計・特別会計・企業会計 17会計の決算を認定 平成30年度補正予算 9件を可決

予算決算委員会報告

平成29年度の一般会計・特別事業会計・上下水道事業会計の各決算認定について、また、平成30年度の一般会計及び特別会計、上下水道事業会計の補正予算について審査しました。

各分科会長の報告を受け、それぞれ質疑、意見討議、討論を行い、採決を行いました。

結果は、決算についてはすべて原案どおり認定、補正予算についても原案通り可決と決しました。審査の中で出された意見の主なものを報告いたします。

◆平成29年度一般会計決算に対する意見

保育園の給食について

保育園の給食調理は臨時職員のみで行われている。アレルギーを持っている子どもも多くいるこ

とからより充実した対応が必要である。今後、再構築と合わせた検討を求めらる。



保育園の給食

徴収率が落ちている市税の効率的な徴収方法について

担当課ごとに行っている使用料等の徴収業務を一つにすることは、先進地事例もあるので参考にして実現を求めらる。

地域の安心・安全活動について

安心安全なまちづくり補助事業制度について知らない区も多いと思うので、実際に役立っている事例等のPRを求めらる。

解放子ども会について

一人一人を大事にするという人権意識を高めるためには、多くの人たちとの学びの場が必要だ。検討を求めらる。

環境教育の推進について

安藤百福記念自然活動指導者養成センターと連携し市の具体的施策に取り入れることを要望する。

通話記録装置貸与について

通話記録装置は電話詐欺被害を抑える効果がある。条件を付けずに積極的な推進を求めらる。

浅間南麓こもろ医療センターへの交付金について

救急医療の人件費の赤字分の2分の1以内で、国からの特別交付措置はあるが、毎年要望書とい

う形でのやり方では不透明感がある。協定書など根拠となるものを作成しておくべきと考えらる。

人権政策について

時代の変化の中で人権侵害の内容も様変わりしている。これからの人権政策は、そのことを加味した検討を求めらる。

難病患者等の見舞金及び通院費補助金減額の見直しについて

難病に苦しんでいる方の気持ちに寄り添って、細やかに周知を求めらる。

地域おこし協力隊の任期終了後について

仕事のノウハウを持っている人たちが任期切れに伴い他市町村へ行ってしまつのは残念なことなので、留まれるような工夫を求めらる。

停車場ガーデンの利活用について

まちなかへの観光誘客でも大きな拠点の一つになっているが、商店街の人たちとの話し合いの場を設け、賑わい創出の検討を求めらる。

協本陣再生事業について

国の補助金が変わり事業費が増えてきたが、事業名が変わり全体像が分かりづらくなっている。一つにまとめて頂きたい。

市道の改良・改修(区)の要望への対応実施率24%について

市民が生活道路として日常的に使う市道は安全性の確保が必要である。予算の確保に努めることを求めらる。

予算・決算審査

大手門駐車場の料金
見直しについて

利用者が少ないので、料金改定が必要と考える。料金改定後の比較検討を早急に行い、利用促進につながる検討を求める。

【討論】

●一部を認定出来ないと
する討論

(早川委員) 同和団体に
関わる決算については、
補助金等の目的の検証が
不十分であり、不透明感
が残る。同和教育を特別
扱いすべきではない。

●全てを認定とする討論

(山浦委員) 29年度予算
については同和関連予算
を含めて議決して
いると判断する。

(清水委員) 団体等から
報告書が提出された報告
書は、予算に沿って執行
されている。成果指標の
意識の効果は心の中

とで数値化できないと考
える。

(神津委員) 決算は認定
すべきと思うが、人権政
策全体の予算配分につい
ては、次年度に向けて検
討を要すると考える。

◆平成29年度国民健康保
険事業特別会計決算認
定に対する意見

国保税の収納率向上
について

国保事業において、保
険税の徴収は重要である
ことから、関係課としつ
かり連携して取り組むこ
とを求める。

◆平成29年度住宅新築資
金等貸付事業特別会計
決算認定に対する意見

未収金6億円以上
について

償還期限まで3年ある
ので、回収に全力を注ぐ
こと。この会計が一般財
源化されるとすれば公平

性に疑問を感じるので、
その辺をしっかりと見据え
た対応を求める。

◆平成29年度小諸公園事
業特別会計決算認定に
対する意見

公園内の施設整備に
ついて

施設、遊具等の整備は
必要なことから、基金積
み立ての検討を求める。

◆平成29年度野生鳥獣商
品化施設運営事業特別
会計決算認定に対する
意見

材料の供給体制について

近隣市町村から供給し
てもらう仕組みづくりを
確立する研究を要望する。

◆平成29年度水道事業会
計利益処分及び決算認
定に対する意見

水道料金の未収金に
ついて

多額の未収金について
は、時効にならずに回収
する措置を求める。

公民共同事業への移
行について

水道を民営化するので
はないかと不安に感じて
いる市民もいることから、
市民に対し、納得いく説
明を求める。

預金残高について

金額の適正さとその運
用についての検討を求め
る。

◆平成30年度補正予算

【一般会計】

○交付金不採択について
質疑 小学校のアスベ
スト除去のための交付金
が不採択になった理由は
何か。

【答弁】 国の交付金の予
算枠が非常に厳しく、全
国的な傾向で採択になら

【答弁】 動物園の馬舎の

なかつたと理解している。
○不動産鑑定について
質疑 同和施設の不動
産鑑定後はどう扱うのか。

【答弁】 評価額を算出後、
市の行政財産から普通財
産に移管し、払い下げる
かどうか協議する。

【水道事業会計】

○膜ろ過装置設置工事に
ついて

【質疑】 水石水源で不都
合があったのか。

【答弁】 7月9日の豪雨
で伏流水、湧水の水質が
悪化したため、水石水源
は停止し、早期改善のた
め補正をお願いした。導
入予定の装置は、他の自
治体でも採用実績がある。
自動洗浄で10年は持つと
想定している。

【公共下水道事業会計】

○松井川幹線工事の詳細
について

【質疑】 1千300万円ど
こを治すのか。

【答弁】 ツルヤ小諸店横
で、管理用道路がないた
め、店舗解体後更地にな
った機会を見てその区間
だけ改修する。

委員会審査 条例の一部改正等5件を可決

委員会では条例の一部改正4件と市道認定1件について審査しました。主な議案とそれに対する質疑・答弁についてご報告します。

福祉環境委員会

小諸市重度心身障害児年金条例の一部を改正する条例を可決

重度心身障がい児に対する国の福祉制度が十分であった時代に市単独事業として開始した年金制度であるが、現在は国の福祉制度が整い当初の役割が終了したため、年額1万8千円を9千円に減額するため所要の改正を行います。

質疑 国の福祉制度が

整ったとのことだが、どの程度充実したのか。

答弁 国の障がい児に

対する特別児童福祉手当

については、昭和39年に制度が開始した当時は月額1千円の支給であったが、現在は障がい1級の方については月額5万1千700円、2級の方については月額3万4千430円の支給となっている。

総務文教委員会

小諸市市税条例の一部を改正する条例を可決

平成28年度の税制改正により、地方税法における法人市民税法人税割の税率が引き下げられたことに伴い所要の改正を行います。

質疑 税率の引き下げ

に伴う減収分については、何らかの形で補てんされるのか。

答弁 この改正で県と

市の法人住民税は引き下げとなるが、引下げ相当分は国税化するので減収分は交付税措置がされる。

複合型施設の調査報告
(予算決算委員会)

◆基本計画にも可能な限り市民意見の反映と施設の愛称公募を求める
予算決算委員会では、

9月定例会初日に7月25日に行った基本計画素案についての調査報告を行い、基本計画策定にあたっては、素案に対する市民の意見・要望等を尊重し、可能な限り基本計画に反映することで、市民の理解が深まるよう丁寧な説明を行い、施設の愛称についても市民参加により決定し、公表することを要望してきました。

◆「素案」修正版を調査

9月19日には、市民意見等が反映された「基本計画(案)」が示され、調査を行いました。追加修正された3点

- ・「計画の策定にあたっては、災害などの緊急時にも対応したものと
- ・「計画の策定にあたっては、災害などの緊急時にも対応したものと
- ・「施設を快適に利用

ただけるよう、計画的で効果的な維持補修・修繕の実施や適正な利用者負担の措置を検討すること」

・魅力的施設の運営に向けて、施設利用者や運営事業者なども加わった運営委員会の設置など、利用・運営計画の管理手法を検討すること」

今後のスケジュール

- ・施設整備のうち用地費と基本設計等の調査費については予算措置が必要になるので、今後補正予算での対応をしたい。
- ・議会最終日の9月25日に公表する。
- ・複合型施設に係るテナント基本協定に関する覚書を(株)ツルヤと締結する。
- ・11月

施設基本計画等業務の着手
建設用地に係る売買契約の締結

・来年3月
施設基本設計の完了
テナント基本協定の締結

○質疑に対する答弁

①喫煙場所については、複合施設限らず、周辺全帯のエリアの中で研究する。

②運営委員会の立ち上げについては、施設が出来る前から立ち上げたい。

③「市道1003号線」の一方通行の交差点改良については、複合施設とは別事業として計上し、別途説明する。改良にあたってはスピードアップしていきたい。

④市道の名称については分かりづらいので工夫をした表記をしたい。
閉会中も継続調査を行い、市民益となるように、今後も様々な視点から意見を述べていきます。

一般質問

代表質問 6名

個人質問 10名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うもので、代表質問と個人質問とがあります。

代表質問は、会派の代表者が質問するもので、3月・9月及び市長改選後の初の定例会で行われます。

個人質問は、議員個人が質問するもので、1人1時間の持ち時間内で行政とやり取りが行われます。



代表質問



災害に備える我がまちの対策は万全か!!

公明党 代表 柏木今朝男

質問

決算を踏まえ、財政運営が今後さらに厳しさを増す中で、将来にわたり持続可能な小諸市の構築を目指して、財務体質強化のための重点課題についての見解を問う。

市長

行政マネジメントの着実な実行と同時に、自主財源の確保を重要課題と捉えている。今後、更に産業団地の造成や住宅の誘導施策等、新たな納税者の獲得を図りたい。

質問

少子化だからこそ、次世代を担う子どもたちに投資が必要である。子育てを総合的にサポートする環境整備についてのビジョンを問う。

市長

子育てを総合的にサポートする体制を整備し、子どもを産み育てやすい環境づくりを、家庭や地域などと情報を共有しながら連携して取り組んでいくことで、「住みたい 行きたい 帰ってきたい 小諸」の実現を目指したい。

質問

「小諸市地域防災計画」の見直しにおいては、昨今の災害の教訓が生かされているのか、女性・障がい者に配慮された計画になっているのか、机上の空論になっていないか、などを詳細にチェックしたうえで、見直されているのか。

危機管理課長

国や県の改定を受け、平成26年度以降毎年見直している。災害教訓は反映されているが、女性や障がい者への配慮は今後検討したい。

質問

小諸市内でも、地区ごとに防災課題は異なるが、その地域に即した防災活動が必要であり「地区防災計画」が重要と考えるがどうか。

危機管理課長

小さい単位の防災計画は大変重要であり、地区へ情報提供・情報共有のサポートを行っていきたい。

質問

今年の西日本豪雨災害の教訓を生かし、ハザードマップの早急の再点検と住民への周知の徹底が必

要であり、以前指摘した防災行動を時系列でまとめた「タイムライン」策定の検討はされているのか。

危機管理課長

県とも連携し、随時改訂があれば改訂し、来年度配布の「暮らしの便利帳」にハザードマップや、指定避難所などを掲載予定。タイムラインの避難訓練も研究したい。



家庭用防災マニュアル

質問

学校施設や通学路の安全確保は最優先課題であり、特に通学路については、実態を調査し、万全の対策を急がなければ、児童生徒の登下校の安全は確保されない。通学路に面した危険な民間のプロック塀等の撤去費用等についての支援をすべきと考えるが見解を問う。

市長

財政的な問題もあるが、他の自治体の状況等見ながら検討したい。



平成二十九年度の評価を次年度に繋げる為に

改革の嵐 代表 福島鶴子

質問

行政経営は、トータルマネージメントされたものになっているか。

市長

「計画」「予算」「評価」を連携させ、目標値と実績値を対比し、決算において評価を示している。

質問

市民にわかりやすい言葉で示すとしたら、平成二十九年度はどんな一年であったと言えるか。

市長

行政の姿が見えにくいと言われることから、マスメディアへの対応や、ケーブルテレビの「市長の部屋」で事業の説明や評価について伝えたことは一つの成果と言える。一方で「市役所改革」は進まず、いくつかの不祥事もあった。

質問

行政評価の物差しに「市民満足度」がある。行政評価の主役は市民と考えるがどうか。

市長

行政評価の一つが「市民」ということは理解できる。

質問

市民は何をもって評価するか。

企画課長

市民参加は大切と考える。行政評価には「第三者委員会」があり市民の代表も参加している。

質問

市民が身近に「行政サービス」を実感するのは職員の対応である。市役所改革が不十分との認識の中で、何が課題か。

総務部長

職員の多くは、基本的にまじめに取り組んでいるが、業務内容の複雑化、国・県からの調査量の増大期間での申請書の提出等で、職場内でのコミュニケーションが不足しがちである。人事の適正化や国が打ち出した「働き方改革」に対する改善への対応がある。

質問

職員が自ら職場を希望出来るシステムはあるのか。

総務課長

「小諸市職員の承認及び異動希望申し出に関する要綱」により出

来る。

質問

応募状況はどうか。

総務課長

そんなに多くない。

質問

それはどの様に考察できるか。

市長

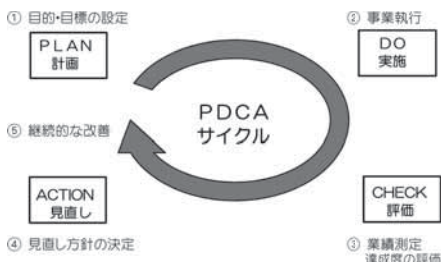
想像するに、自分の仕事の忙しさ、やってみたいと思う所も大変そうで二の足を踏むのか、正直わからないというのが結論である。

質問

高齢者のタクシー利用助成事業は、PDCAシステムに位置づけられる事業。廃止の理由はないと考えるがどうか。

総務部長

一つの目安の提示が必要であった。改めて検討したい。



PDCAサイクルによる行政運営の仕組み

代表質問



安全に安心して暮らせるために

市議会 代表 山浦利夫

質問

平成29年度決算をどのように捉えているか。

市長

決算数値などは概ね良好な結果ではあるが、今後も「財政の健全性」をいかに継続していくかが、重要である。

質問

経常収支比率が上がっており、財政の硬直化が心配される。財政運営への影響はどうか。

財政課長

扶助費と社会保障費が今後も増えていく中では、財政の硬直化は今後も進むことが懸念される。経常経費等の削減に努め、必要

なところに資源が振り分けられるよう努めていく。

質問

今後の財政運営について、どのように考えているか。

市長

行政マネジメントシステムの実効性ある運用や公共施設等総合管理計画の着実な実行に努めていく。



こもろ愛のりくん

また、歳入面では産業団地の造成

や住宅の誘導施策などによる新たな納税者の獲得など、自主財源の確保を積極的に進めていく。

質問

「こもろ愛のりくん」の29年度の利用者の状況はどうか。

市長

29年度の利用者は約5万1千人で、前年度に比べ約6千人増加している。その内、後期高齢者となる75歳以上の利用者が約2万8千人と全体の6割を占めている。

質問

新しい地域公共交通ネットワークの構築に向けて、今後の取り組み

みはどのように考えているか。

市長

庁内関係部局の連携会議や様々な運行事業者等から組織される

「小諸市地域公共交通連絡会議」

での協議・調整を行い、安定した運行・経営にも配慮した利用方法や利用料金などの運行形態の改善・見直しを行っていく。

質問

多極ネットワーク型コンパクトシティとの関連で、中山間地の多い小諸市に合う地域公共交通のネットワークの構築という部分では今後の課題をどのように捉えているか。

市長

現在の運行は、バス・タクシー事業者が担っている部分が非常に大きい。運転手の不足などが懸念されている中で、今の水準を維持しながら持続可能な運行を確保していくことが当面の課題である。多くの市民の皆さん、少子高齢化の中では特に高齢者の皆さんにできる限り対応した形でしっかりと財源を確保しながらやっていく。

質問

小諸市の家庭用防災マニュアルは良くできていると思うが、地域

の地勢を踏まえたマニュアルが必要だと考える。地域や区と協働で作成していくことはどうか。

危機管理課長

区単位で作成していく必要があると認識している。区や自主防災組織、消防団等々の皆様と協力して考えていきたい。

質問

小諸市土地開発公社の運営は、平成26年度に策定した経営健全化計画に沿って運営を行っているが今年度は計画の最終年度となっている。小諸市土地開発公社の今後の方針はどうか。

市長

庁内での検討や有識者等による評価を行い、年内には市としての方向性を決定し、年明けには公社理事會に諮りたいと考えている。

意見

公共用地や事業用地などの取得には機敏性、スピーディさを持つて当たるのが重要であり、土地開発公社の持つ機能を生かすべきだと考える。

市財政への影響や事業を行っていく上での必要性など、あらゆる角度から検討を行い、今後の方針を示していただきたい。



決算行政報告について

創正会 代表 田中寿光

質問 自主財源の確保はどう図ったのか。

市長 自主財源の柱は市税であることに変わりはないので、引き続き適切な課税、収納率向上、税収増加対策を実施している。

平成29年度に航空写真の撮影を7年ぶりに行い、固定資産税、都市計画税の適正な賦課のための資料作成を進めている。また、移住・定住施策や企業立地による新たな納税者の獲得も図っている。

質問 依存財源である地方交付税の状況はどうか。

市長 普通交付税の減額理由としては、歳入面では法人市民税や地方消費税交付金などの減少を受け、総じて基準財政収入額が減少している。歳出面では普通交付税の多くの費目で基礎数値としている国勢調査人口が、平成27年調査の確定に伴い、前年度よりさらに減少したこ

とと、平成27年度において、下水道事業会計への繰出金が見直されたことによる資本費平準化債の借入増加の影響により、下水道費の減額と併せて前年度数値の減額修正を受け、基準財政需要額も大幅に減少となった。

質問 特別交付税の減額理由については、平成25年度に発生した大雪による農業ハウスの被害対策が、平成28年度をもって終了したことによる減少が主なものになっている。

市長 財政指標はどう評価しているか。

実質公債費比率は、普通会計が直接負担した地方債の元利償還金と、公営企業や一部事務組合への繰出金や負担金のうち、地方債の償還に充てられた準元利償還金などの実質的な公債費の合計額から、普通交付税措置額や、その他の特定財源を除いた額の標準財政規模に対する割合となる。平成29年度では、前年度より0.5%ほど改善しているが、昨年度に引き続き

て公共下水道事業会計への償還経費に対する繰出金が減少したことにより、準元利償還金が減額になったことによるものである。

質問 将来負担比率については、普通会計が実質的に将来負担する元利償還金や、公営企業等の公債費、設立法人の債務などの合計額から、基金などの充当可能な財源を除いた額の標準財政規模に対する割合となる。

市長 今後も重要事業を進める中で、地方債残高の上昇と基金残高の減少が見込まれ、各指標の悪化は避けられないと考えているが、引き続き行政改革を進めることで各指標の悪化を最小限度にとどめ、財政の健全性を損なわないよう努力していく。

質問 各施策の成果指標の目標値と活動指標の計画の見直しはどうか。

市長 行政マネジメントのPDCAサイクルの中で、政策、施策、事業の評価と成果指標や活動内容等の改善点について検討を行ってきた。庁内での自己評価及び総合計画審議会による第三者評価を行った上で、今定例会に決算審議の資料と

して成果説明書を提出させていただいた。

質問 選択と集中の事務事業はあったか。

市長 基本計画で設定した財政指標を遵守していくためにも、事業の選択と集中は避けては通れない。財政運営の原則に従い、基本的には実施計画策定の中で設定する施策内順位の高い事業へ経費を優先的に配分していくことで、選択と集中を進めていきたいと考えている。





決算の行政評価から次年度予算編成へ

新公会 代表 神津眞美子

質問

決算により、予算執行に伴う成果をどの様に評価し、市民福祉向上に向けて、どの様に改善して次年度予算編成へ繋げていくかが重要であると考えます。昨年の決算議会では、行政評価のあり方を質し、改善を求めたがどうか。

市長

評価については、サマリーレビューの実施方法をより発展させ、各部長が施策を評価することによって、事業の統合及び廃止、改善の意思決定を行う会議とした。まだまだ不十分な面もあることは否めないが、今回の改善のように更なる進化を目指し、しっかり取り組んで参りたい。

質問

農業費の執行率は約58%で、繰越額が大きく計上された。あぐりの湯の大規模改修工事関連で、工事期間が計画より大幅に延びて、かき入れ時の夏休みが全館休館となった。この一連の流れをどの様に評価しているか。

経済部長

急遽計画の変更をせざるを得なくなり、非常にご迷惑をおかけしと反省している。

質問

直売所の工事完成は11月と報道され、オープンが冬に向かうが、地元産の農産物で拡張された店舗を満たせるのか。

経済部長

指定管理で委託しているJA佐久浅間様は、佐久市のヘルシーテラスの運営もしているので、そちらの経験も生かしていただきながら、基本的には地元のものと考えているが、広域的な商品収集も必要か、協議して参りたい。

質問

今夏の猛暑を体験し、子どもたちの健康管理面から、来夏までに保育園、小中学校へのエアコン設置を要望する。国・県へ支援を求める動きも活発化する中で、市の検討はどうか。

教育長

今年度は保育園の未満児童のク

ラーを完備したが、それ以外の部屋や、児童館の足りない所も必要。さらに小学校についても、しっかり考えていく必要があるという認識でいる。

質問

先の6月議会で、公共交通の料金の割引と車両の小型化等を提案したが、加えて、例えば愛のりくんの回数券に高齢者福祉センターの入浴券を付けるとかの誘導策が必要ではないか。

建設部長

新たなアイデアということでは今後早急に考えていかないとはい



市民益に沿った行政運営を心掛けてほしい！

日本共産党 代表 早川 聖

質問

平成29年度事業について、市民益に沿った行政運営について具体的な事例を挙げて質問する。

「複合型中心拠点誘導施設」の事業の進め方は、当初、市民への説明はするが、意見はあまり聞かないスタンスだったが、説明会を重ねる中で市民の声を反映する姿勢に変化してきた。これが、本来

ないと思う。試して乗ってみたら具合が良くてヘビユーザーになった例もあるので、未使用者にお試して導入できれば良いし、何らかの制度を考えていきたいと思う。



あぐりの湯 全景

の市民協働で進める形ではないのか。

民間企業が相手とはいえ市民への公表・説明が後手に回った進め方に納得できない市民も多かったと思う。なぜ当初から市民参加で進めなかったのか反省の意味も込めて考えを聞きたい。

市長

市民協働が不十分ではないかと

代表質問

いうご指摘の中ではそういう部分もあるが、7月に出した基本計画素案は、市民の皆さんに真正面から向き合い誠実な形で提示させていただいたので理解いただきたい。

質問

脇本陣のリノベーション事業では、当初、5千50万円だった事業費は1億2千万円になり、およそ2・4倍まで膨れ上がったのはなぜか。今後さらに事業費が膨れ上がることはないか。

経済部長

非常に有利な交付金の活用ができるということで、スケジュール的に厳しい中で調査しないでスタートした。保存と活用、安全を考慮しても、現時点ではこれ以上の費用がかかる見込みはない。

質問

中央保育園と芦原保育園の統合問題では、「小諸市立公立保育園の整備、充実に関する検討会」が取りまとめた報告の、南城公園の50メートルプール付近に移転・建て替えをするという結論は、教育委員会事務局の意向が強く反映されたものではないのか。

教育長

検討会の皆様方が十分に検討し、

現地視察も行った。また、具体的な場所を提案するようにとの要望にも応えて2箇所提案したので、主体的に検討会の皆様を考えていただいたと考えている。

質問

この検討会が導いた結論に基づく「小諸市公立保育園に関するアンケート」では、事務局の用意した候補地の南城公園についてのメリットばかりでデメリットが述べられていない。南城公園へ誘導しているのではと思われるが、公平性に欠けているのではないか。

教育長

アンケートに用いた文章は、報告書の文章をそのまま載せたので、決して誘導ではないと考えている。



イイ！保育園を作ってね♪

個人質問



小諸に、国体のレスリングが帰ってくる!!

高橋 公

質問

2027年長野国体が内々定で、さらに小諸市でのレスリング競技の開催は内々々定かと思う。小諸市総合体育館はどうなるのか。

市長

現時点ではレスリング会場受入れのための大規模改修はせず、通常の維持管理補修計画で進める。

2021年にレスリング競技の開催が正式決定したら、スポーツ振興くじ助成金の活用により施設の大規模改修ができる。

質問

1978年のやまびこ国体との運営上の違いは何か。

市長

2016年から女子レスリングが1階級のみだが実施されている。長野国体では女子の階級は増えるかもしれない。

質問

男女それぞれにロッカー室、シャワー室が必要になるかどうか。

教育次長

種目の数が今後決まってくるの

で、状況を見ながら考えていく。

国体をにらむと女子のロッカー室やシャワー室の改修が必要だ。

質問

やまびこ国体の時の写真から観客数を推測すると約900人、昨年総合体育館で実施されたバスケットのBJリーグの時は仮設スタンドを含めて主催者発表で1千200人、2027国体が首都圏からアクセスの良い小諸市での開催となると最低でも1千500席は用意しないとイケないかどうか。

教育次長

観客席にも予算がつくのであればできるだけ大勢に見て頂きたい。



昭和53年やまびこ国体のレスリング競技



クラインガルテン妙高



クラインガルテン(滞在型市民農園)の推進を

清水喜久男

質問

余暇の楽しみや老後の生きがい
また、真の豊かさを求める価値観
の変化に伴い、自然に寄り添い、
農作物を育てるなど農村生活への
都市住民の需要が高まっている。

農業振興や農村振興の視点から
も都市農村交流の推進による移住
定住増につながるクラインガルテ
ンの推進はどうか。

市長

ご提案の都市と農村の交流を目的
的に活用するクラインガルテンは、
中山間地で農村振興にその効果が
期待されている一方で、低額の貸
別荘としての位置付けを超えられ

ない事例も見られるので、施設整
備が先行することなく、経費やメ
ニュー開発を含めた管理運営計画
を研究していくことが不可欠であ
ると考える。

質問

中心市街地に賑わい創出する事
業を進めているが、農村部にクラ
インガルテンをすることにより滞
在者はもとよりロフト付きなので
友達等も呼べるので小諸へ来る方
が増えると考ええる。特に西小諸の
みはらし交流館を中心に行ること
により「ねんぼう岩」や「高峰高
原へのハイキングコース」もあり、
観光面でも小諸のPRになる。ク
ラインガルテンを作るための国の
補助金メニューも多くあり、補助
率は2分の1であるのでこの点も
含めた検討はどうか。

経済部長

みはらし交流館のある糠地地区
では多様な農作物を作っているの
で適地と考えるが、大きな設備投
資を伴うので慎重な研究が必要と
考える。

考える。



異議あり!「保育園統合、南城公園へ移転」II

小林一彦

質問

園児数が減少していく中でこれ
からの市内全体の公立保育園のあ
り方を検討した上で、荻原保育園
及び中央保育園の再構築について
検討すべきだったのではないかと
対症療法的な対応をしても根本的
な解決策にはならないのではない
か。再検討する考えはあるか。

教育長

荻原保育園と中央保育園につい
ては早急に対応しなければならな
い状況であるとの認識から、最優
先で問題解決のための検討を進め
てきた。建て替えの場所について
は様々なご意見もあるが、まずは

検討会の報告書を尊重し、子ども
たちにとって望ましい保育環境の
実現を図るために、南城公園50メ
ートルプールと隣接する冒険の森
の一部への保育園建設に向けて、
必要な調査等を進めていきたいと
考えている。

質問

現在の市立保育園は、比較的バ
ランス良く配置されているが、荻
原保育園と中央保育園が統合され
南城へ移転した場合、小諸市の中
心市街地から西にあるのは西保育
園だけになってしまい、東側に偏
ったバランスの取れない配置にな
ってしまいます。近い将来あり方を検
討しなければならぬ時期が来る
ことが明らかな西保育園と千曲保
育園をどうするか、その時期を迎
えたときに、あの時こうしておけ
ば良かったと後悔を残さないため
には、西保育園と千曲保育園がカ
バーできる場所に移転しておくこ
とが賢明ではないか。

教育長

ご意見として伺います。

ご意見として伺います。

公立保育園の園児数の推移

区分	H27年	H32年	H42年	H52年	
園児数合計	512	442	363	318	
内 訳	荻原保育園	58	51	42	36
	中央保育園	58	50	42	36
	千曲保育園	31	26	22	19
	美里保育園	101	86	72	63
	西保育園	38	33	26	23
	南保育園	115	100	81	72
	東保育園	111	96	78	69

減少の一途をたどる園児数



大里・西小諸の未来に向けて

丸山正昭

質問

みはらし交流館増設の考えについてはどうか。

市長

西小諸活性化施設運営委員会や地元区などからは菜の花まつりなどにより施設の認知が進み、市外からの利用者が増加して地域の活性化に期待が高まってきている状況や、近年の原材料としての「ソバ」の国産回帰による需要の増加等「ソバ生産」に期待をされる状況を受けて、そば打ち体験施設の整備を望む声を聞いている。

このような状況であるため、今後はそば打ち体験施設の増設につ



増設を望むみはらし交流館

いて、施設の維持管理を含めた運営管理経費、継続性のある運営体制、収益の見込める体験メニューづくりを含む費用対効果や、補助制度の活用など、より具体的に検討していきたいと考えている。

質問

産業団地の確保に向けた進捗はどの程度進んでいるか。

市長

産業団地の確保に向け、今年度はコンサル事業者に委託し、場所方法を選定する。また、今回の業務は、場所等の絞り込みだけでなく企業の需要動向調査も行い、小諸市の企業誘致のPRや、市内及び候補地に対する需要、ニーズを把握する。そして、そのことにより産業団地の造成と並行して企業の誘致も行っていきたいと考えている。

具体的な進捗としては、プロポーザル方式により請負事業者が決定したので、現在、綿密な打ち合わせを行いつつ業務を進めている。



ごみ出し困難者への支援の取り組みを

土屋利江

質問

ヘルプマークが7月2日から開始となったが配布状況はどうか。

市長

県から85個割り当てがあり、8月末現在で27個配布している。

質問

ごみの排出量とリサイクル率の現状はどうか。

市長

ごみの排出量は平成28年度実績が79グラムで、県の平均を下回っている。リサイクル率は34・4%と前年より27ポイント低下した。

質問

数値を下げるには、市民一人一人の取り組みが重要となるが、資源ごみ分別アプリの導入はどうか。

環境水道部長

アプリの導入は予定していない。

質問

高齢者や障がい者等、ごみ出し困難者への取り組みはどうか。

環境水道部長

ごみ出しの問題だけではなく生活支援や緊急時の対応と多岐にわたる。庁内で調整協議をしている。

民生部長

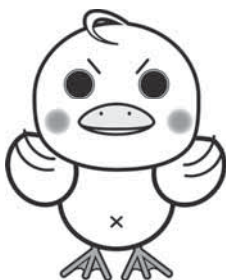
日常生活支援については支え合いの仕組みを作り、取り組みを進めていきたい。

質問

事業系のごみを減らすために、企業からごみ減量アドバイザーを募集したらどうか。

環境水道部長

ごみ減量アドバイザーの方からも、事業所のごみ減量は環境にもいいし、経営にもプラスになることをPRし、ISOやエコアクション21の認証を進めるべきだと提案をいただいている。



小諸市ごみ減量キャラクター「減ちゃん」

個人質問



地域との関わりも大切にされた学校改築計画に

柏木博美

質問

長期学校改築計画についての提言書に関する小学校区毎の懇談会が開催された。参加者は少なかつたように感じるが、提言内容の受け止め等はどうかであったか。

教育長

6会場で189名の参加をいただいた。関係する一定の皆様の参加が得られ、当日のアンケートでも様々なご意見をいただけた。提言内容についても前向きに受け止められ、次の検討段階へ進むことに一定の理解をいただいたと感じている。

質問

児童数の減少で複式学級になっても教育的効果は普通学級とあまり違いはないと聞く。提言書で示されている「伸び伸びと自分の表現ができ、子ども同士の学びがある」等の「望ましい学校の姿」は統廃合しなければできないのか。

教育長

それぞれにメリット、デメリットはある。子どもの人格形成にお



長期学校改築計画に関する懇話会の様子

いて、また教職員においても様々な年代層がいて切磋琢磨することが出来る。それにはある程度の集団が必要になる。そのことは検討会でも十分検討していただいた。

意見

国は教職員数の削減で教育費を減らそうとしている。学校の統廃合や小中一貫校についてもその流れの中にあると感じている。

学校や保育園がなくなると地域から子育て世代が減少していく。地域との関わりが大きい学校改築計画は市民と意見交換のできる資料やデータをしっかり示して検討してほしい。



小中学校の全教室にエアコン設置を

掛川剛

質問

今年の夏は35度を超える猛暑日が連日のように観測された。この暑さは今年だけで終わると思えない。小中学校の全クラスにエアコンを設置すべきではないか。

市長

今年の状況から、長野県は冷涼な気候という今までの考えは通用しないとの判断に至り、常時使用する教室などへ早急に冷房設備を整備するための具体的な検討を始めた。

質問

児童館・児童クラブにもエアコンを設置すべきではないか。

市長

エアコンのない坂の上児童クラブのほか、エアコン設置の必要な部屋があることもセンター等に計6台のエアコンを設置するよう検討していく。

質問

多くの児童・生徒が通学する通学路に、いつ事故が起きてもおかしくないような危険箇所がある。



危険な通学路（県道借宿小諸線）

点検と改善を早急にすべきではないか。

市長

関係機関との合同点検や地域からの要望に応えるため教育委員会とも連携し、できることから実施していく。

質問

具体的には、県道借宿小諸線（旧国道141号）の四ツ谷から三岡駅に向かう場所が極めて危険だ。

市長

佐久建設事務所で確認し、現在現地測量等の調査や設計に入る予定。県議会を通じ要望もした。



平原駅に駐車場を／旧本陣・市住を質す！

竹内健一

質問

平原駅に駐車場整備できないか。

市長

現在、送迎用に10台ほどのスペースはあるが、駐車場整備をするとなると管理会社のしなの鉄道と協議し、市も応分の負担が必要となることから、駅の立地状況に合わせ検討を行うことになる。

質問

「29年度ふるさと納税」9千万円余の使途として免許返納者へ公共交通の補助に充当できないか。

市長

公共交通の充実には、ふるさと納税の活用は事業の性格上なじま



平原駅

ないので、今後高齢者対策の一環として、免許返納者如何にかかわらず、一般財源から検討していく。

質問

市営住宅改築事業として平成35～36年に20億円の計画だが、複合施設費で財政負担が逼迫されるが修繕補修・延期等対処できないか。

市長

長寿命化変更計画において、富士見平団地128戸のうち88戸を2年間にかけて建て替える方針だが、計画を策定した当時と状況が変わっており時期や建設費等、状況の変化を見きわめ再度精査する。

質問

旧小諸本陣保存修理事業について、平成30年～32年の間に10億円の改修計画が見直せないか。

教育長

保存修理に32年度より1～2億円が見込まれ、市として実質5億円（国が2分の1）を想定額としているが、保存修理の経費を極力縮減するための検討をしていく。



複合型誘導施設の基本計画素案について

中村憲次

質問

重要な基本計画素案の市民説明会への参加者が5会場で115名と少なかったが（前回は10会場336名参加）十分市民に理解されたか、その認識と検証はどうか。

市長

手続き上の問題があり広報での市民周知が遅れて9月号掲載になった。次回は、このようなことのない様、周知徹底していきたい。説明会場では事業のあり方や進め方の批判もあったが、市民の意見について可能な限り、基本計画に反映していく考えである。

複合施設による中心市街地の賑わいの創出の実行とあるが、その根拠と対応の考えはどうか。

市長

商業施設利用者は年間70万人、80万人の見込みである。ソフト面の取組みが重要で、地方創生モデル都市として指定になり国費も導入しやすくなることから、地域が主体的にまちづくりを実施し、あわせて行政も積極的に関わってきたい。

質問

現在駐車場利用に問題があるが、複合施設は高齢者に配慮した駐車場の計画か。また、複合施設利用者延べ2万人以上の混雑時のエレベーターは1台で十分対応可能か。

建設部長

今までの意見を十分反映し配慮した点は、①出入り口の発券機は設置せず無料、②交互通行、③歩行者専用通路、④出口と入り口が同じ。利用者の安全性、利便性を配慮した。また、エレベーターは1台で対応する。



基本構想素案説明会の様子



子育て家庭の厳しい状況、早急に対策を！
小林重太郎

質問

長野県の「子どもと子育て家庭の生活実態調査」（小諸市の数字）で、「現在の暮らしの状況」（大変苦しい・やや苦しい合わせて46・9%）「お金が足りなくて食料を買えないことがあった」（28・1%）「わが子を虐待しているのではないかと思ったことがある」（14・1%）など、あまりにも厳しい状況が明らかになった。どう受け止めるか。

市長

これまで具体的な統計数字の把握がなかった。しっかり受け止めなければならぬ。

質問

今回の調査結果をどのように政策に反映すべきと考えるか。

市長

子どもの貧困対策は極めて重要であると考える。そのためには、まずSOSをキャッチできる仕組みやSOSを出しやすい体制づくりが大切。相談窓口の体制強化やそのPR、相談者が気楽に相談できる意識づくりなど、必要なアクションを考えていきたい。

質問

これは、「声なき声」からのSOSだと思いが、どうか。

市長

私もそう受けとめている。

教育長

そこに思いが込められていると思う。

質問

児童虐待の早期発見・早期対応で、小諸市の役割の認識は。

教育長

「要保護児童対策協議会」と連絡を取り合い、情報共有している。



12月定例会のご案内 傍聴をお待ちしております

12月定例会の予定をお知らせします。

予定のため変更となる場合があります。

開議時間は概ね9時からです。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 22・1700（代）

◆委員会を傍聴してみませんか

小諸市議会では、会議は原則公開となっております。本会議だけでなく、各常任委員会も傍聴することができまますので、是非傍聴にお出かけください。

次回12月定例会の日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
11/26 本会議 (提案説明等)	27	28	29	30	12/1	2
3 本会議（一般質問）	4	5	6	7 総務文教 委員会・ 分科会	8	9
10 福祉環境 委員会・ 分科会	11 経済建設 委員会・ 分科会	12	13	14 予算決算 委員会	15	16
17	18 本会議 (委員長報告等)	19	20	21	22	23

10月臨時会を開催 総額 2 億円を追加する 補正予算を可決

ほか、野岸小学校管理棟改築工事の変更請負契約を可決

臨時会の概要

◆期間：10月9日（1日間）

◆補正予算の内容

・ 複合施設用地購入費及び基本設計等調査費

1億9千万円

・ 小中学校エアコン設置調査・設計費用1千万円

◆その他の議案

・ 野岸小管理棟改築工事変更請負契約について

◆審議結果：すべて可決

今臨時会は、複合型中心拠点誘導施設の基本計画素案に対する調査の中で示された施設整備の今後のスケジュールにおいて、用地費等の予算措置を早急に行う必要性があること等から開かれまし

予算決算委員会

◆平成30年度補正予算

【一般会計】

複合型中心拠点誘導施設にかかる質疑

○土地購入費について

質疑 (株)ツルヤの土地

については、どう対応するの

答弁 テナント料との

○取得金額について

質疑 適切な金額であるのかどうか

答弁 周辺の取引事例を参考とした。

○用地交渉について

質疑 用地内の交渉相手は何件か

答弁 交渉相手は6件

相殺を協議したが、土地単独で購入することになった。

で、事業については理解をいただいている。

○質疑 小中学校への冷房設備設置調査費にかかる質疑

○エアコンの設置場所について

○質疑 普通教室等のほかに給食室も予定しているのか

○答弁 普通教室と特別支援教室などを予定しており、給食室は予定していない。



○事業年度について

○質疑 単年度でできなかった場合はどうするか

○答弁 繰越も想定している。

○これまでの整備品等について

○質疑 今までに設置した扇風機や計測器はどうなるのか

○答弁 それらも利用し、過剰投資にならないように進めていきたい。

総務文教委員会

野岸小学校管理棟改築工事の変更請負契約を可決

改築工事の支障となる樹木の移植や、既存給食棟と新校舎の接続部分などに、81万6千円の追加工事を行います。工期に変更はありません。

○給食棟の改修工事について

○質疑 工事の具体的な内容や施設面での配慮の有無はどうか

○答弁 給食の食缶等を受け渡しするスペースで児童の動線や衛生面に配慮した構造となる。

小諸で活かしたいこと

総務文教委員会

学校等の情報発信の取り組みと小学校農業科の視察研修し、次のようにまとめました。

教育ポータルサイトあいつつWeb

会津若松市では、各保育園や小・中学校と教育委員会の情報等を一本化して配信している。更にスマートフォン向けに開発したアプリケーション「あいつつこプラス」は、学校の出来事や緊急情報も地図上で知らせる学校と家庭をつなぐ新しいツールとなっている。

○小諸市のICT産業に関する環境とは違っているので今すぐにとの提案は難しいが、地域総ぐるみで教育を支える体制を目標に

掲げる小諸市の取り組みに活かすため、将来に向けて様々な視点から研究していく必要性がある。

特にスマホ向けアプリについては、早急な導入を検討すべきだと考える。

小学校農業科の授業

喜多方市では、小学3年生から6年生の児童が農業授業を通し、共生や思いやり、環境面など、地域産業の農業が持つ教育的効果を子ども達の育成につなげている。

活かしたいこと

○この取り組みを参考に取り入れることにより、教育的効果に加え小諸市のふるさとの素晴らしさを再発見していくことにつながるなど、児童にとっては将来必ず役に立つ貴重な授業体験になると考えられ、小諸市でも導入を検討してほしい。

福祉環境委員会

市民相談総合窓口システムと環境人（かんきょうびと）を育む施策について他市を視察研修し、次のようにまとめました。

市民相談総合窓口システム

野洲市では「野洲市くらし支えあい条例」を制定し、消費生活相談や生活困窮者等への支援、また市役所内にハローワークを設置し、就労支援と生活支援の一体的な提供を市民相談総合窓口を核に庁内連携して取り組んでいる。

また、何も言わなくても発見できる「アウトリーチ機能（ひとつの気づき）」が発揮され生活再建等の成果をあげている。

活かしたいこと

○学習支援を行政の必要事業とし、真剣に検討すべきである。

○ひとつの気づきを共有し、連携して支援していくプロセスを見習う。

○相談窓口のあり方について庁内プロジェクトを立ち上げて検討する。

環境人を育む施策について

大津市では、人自身・社会環境に関心を持ち、主体性をもって行動ができる人を育てている。

活かしたいこと

○環境学習を学校教育、社会教育、家庭教育の場に取り入れる取り組みを。「まちおこし」の一つに繋げてみてはどうか。

○小諸市の環境学習にとって大きな存在と言える安藤百福センターが目指すものを共有し、市として協働できるものを提案するなどして、積極的に取り組んで頂きたい。

経済建設委員会

市街地活性化・ワイナリーの先進事例・公共交通ネットワークについて他市を視察研修し、次のようにまとめました。

中心市街地活性化の取り組み

岩見沢市では撤退した大型商業施設を買い取り、公共施設として再生整備し、現在では委託運営されている。家族連れなど多くの市民でにぎわっていた。

公共交通ネットワークの構築

○小諸市の複合施設では、広範囲の市民が利用できる工夫を検討して欲しい。

活かしたいこと

○運営管理は岩見沢市同様の、民間への委託を検討されたい。

小規模ワイナリーへの行政の関わり方

余市町では、ワイン用ぶどう栽培の適地である

ことを活かし、行政はワイン特区認定・PR活動支援・ワインツーリズムの取組み、事業費支援等積極的に取り組んでいる。

○新規参入の小規模ワイナリーへの総合的な支援体制構築をのぞむ。

公共交通ネットワークの構築

○小諸産ワインのPR活動の強化を検討されたい。

活かしたいこと

○小諸市でも、現行システム改善のために、市街地に定時定路線バスを一日中走らせる試行運行を検討されたい。（愛のりくんはそのままで）



ぼいす

第6回

キラキラ★小諸人

鴫久保ビオトープのみなさん

今回は鴫久保区の「鴫久保ビオトープ」を管理しながら、様々な活動をしている有志の皆さま方を訪ねお話を伺いました。

この会は20名余のボランティアの皆さま方を中心に構成され、8年前より活動しています。

Q1 活動のきっかけはなんですか？

当時の市長のひらめきにより、鴫（とき）が飛来するような自然の場所を、鴫と鴫久保の関係があるこの地に作れないものかとの投げかけがありました。

鴫久保区では「夢のまた夢でもいいから鴫が飛来するような昔ながらの環境作りはできないものか」と考え、村の中の棚田（遊休荒地）を候補

にあげ整備が行われてきました。

Q2 どんな活動をしていますか？

主に次の4点を中心に活動しています。
①お米作りを通して、区民や子どもたち、区外からの参加者たちと交流し楽しんでいます。
②菅平ナチュラリストの会の方々と毎月2回鴫久保ビオトープの自然観察会を開いています。

③3年前に植えたフジバカマには、今年の秋も数百羽のアサギマダラがやってきました。
④ホタルの復活を図ってきた結果、昨年あたりから光が飛ぶ様になりました。

Q3 今後の主な活動はなんですか？

昔からの自然豊かな



子どもたちもいっぱい

Q4 市に期待することは何ですか？

更なる活動支援等をお願いしたい。

里山を守り、これからもみんなで味わい、楽しんでいきたい。」という気持ちで、様々な生物に配慮した農地の整備やビオトープづくりなどの取り組みを通じて、将来、鴫が再び鴫久保に飛来してくれる事を願い、鴫の住めるような里山作りを目指します。

編集後記



「学校が真ん中にあり稲の村」
「学校が真ん中」…情景が浮かんできそうですね。
場所的だけではなく、地域のコミュニティの真ん中、そして、そこに思いを馳せる人々にとって心の真ん中…
この句は、虚子の小諸時代の作です。この「学校」とは、どこなのかな？ちょっと想像してみるのも楽しそうです。
さて、この秋も学校では、いっ

せいに運動会、体育祭が行なわれました。元気に走りまわる子どもたちの姿には未来を感じます。
「子どもは宝」よく使われる言葉です。でも、言葉だけではいけませんよ！こぼれるような笑顔の子どもだけではありません。とても辛い思いをしている子どもたちもいます。そんな子どもたちへも感性を巡らせて応援しましょう。
そんな気持ちでいっぱいこの頃です。
(重)

傍聴席



平原区 土屋貴広 さん

議場に入ると開会前にも拘らず議員と市職員が小諸市の財政について議論している姿があり、議会という場所の特別な雰囲気を感じました。
質問の際にはパネルを

使用したり分かりやすい言葉を意識して使っている議員も多く、市民が気軽に訪れることができる場所であると思いました。
質疑を通じて感じたことは議員が市民の意見を大切にしているということです。質問の中には市民から寄せられた声や要望が反映されていました。「計画の段階から市民の意見を取り入れているのか。」といった質問が印象的でした。
議会を振り返ると、そこには紙媒体からは伝わりきらない質問者、回答者の声の抑揚や熱量、熱意がありました。議会と行政の両者から「小諸市をより良いものにした」と。「小諸市の未来を明るくしたい。」という強い思いを感じました。そんな中で私は市民として何かしているだろうか。そんな中で私は市民として何かを考えさせられました。私も市民の一人として小諸市の未来を考え続けることが必要だと痛感させられた小諸市議会でした。